

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 26 日現在

機関番号：34315

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2013～2014

課題番号：25780122

研究課題名(和文) Japan's Resource Dependency & the Rise of Resource Nationalism in Asia

研究課題名(英文) Japan's Resource Dependency & the Rise of Resource Nationalism in Asia

研究代表者

HATCHER Pascale (HATCHER, Pascale)

立命館大学・国際関係学部・准教授

研究者番号：30611181

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,400,000円

研究成果の概要(和文)：当研究ではアジアの資源ナショナリズムにおける近年の傾向について調査を行った。“資源ナショナリズム”はここ数年で契約の取消、税率・特許権使用料の要件改定、国営化にまで及ぶ鉱業への政府参加拡張など様々な形態をとってきた。調査ではモンゴルの事例から、地域天然資源を巡り新興国中国・インドとの競争が増す日本の近代的資源ナショナリズムの経済・政治的派生効果を探り出した。また資源ナショナリズムの高まりによる政治的・経済的派生効果のさらなる理解のため、Campbell (2004, 2009)とSzablowski (2007)が展開した国際政治経済学的要素と規制法を融合した新たな枠組みから調査を展開した。

研究成果の概要(英文)：The research "Japan's Resource Dependency & the Rise of Resource Nationalism in Asia" investigated the recent wave of resource nationalism in Asia. "Resource nationalism" has taken many forms in recent years, mainly revoking contracts, revising tax rates and royalties requirements, increasing state participation shares and at time, even nationalising mines. Building on the case of Mongolia, the research has teased out the economic and political ramifications of such turn towards contemporary forms of resource nationalism for Japan, a country which has been increasingly competing with rising China and India for the region's mineral resources. In order to better understand the political and economic ramification of the rise of resource nationalism, the research builds on a novel framework developed by Campbell (2004, 2009) and Szablowski (2007) which merges International Political Economy elements with Regulatory Law.

研究分野：政治経済

キーワード：モンゴル 鉱業 抽出産業 世界銀行 Oyu Tolgoi 資源ナショナリズム 新自由主義

1. 研究開始当初の背景

過去約 15 年間に於いて、アジアの大半の資源産出国では、世界銀行グループ主導による鉱業体制の改革が行われてきた。インドネシア、ラオス、モンゴルとフィリピンのような国々の鉱業政策における新自由主義 (*neoliberalisation*) は、潜在的投資家のために法的・財政利益の拡大を行い、直接投資の誘致のための調整・適合を行ってきた。しかし近年、そのような鉱業体制において、資源産出国による契約の取消や、税率・特許権使用料における要件の改定、国営化にまで及ぶ鉱業プロジェクトへの政府参加拡張など、ドラスティックな改定が頻発する様になった。

この様に近年発生するアジアの資源産出国において多様な面を見せる資源ナショナリズムによって、資源依存国である日本へどのような影響がおよぼされるのか、モンゴルにおける資源ナショナリズムの実態と多元的側面から発生するその影響力について調査を行い、考察を行うこととした。

2. 研究の目的

本研究では、モンゴルの事例からアジアにおける「資源ナショナリズム」の近年の傾向の性質とその潜在的な社会環境からなる派生效果を以下の方法により解明することを目的とした。

(1) 近年の鉱業改革における歴史的・政治的基盤の解明

(2) ケーススタディ及び国際政治経済学理論の洞察の構築、アジア資源ナショナリズムの高揚の特異性を理解するための枠組み確立における共通性の引き出し

(3) 各地域の資源ナショナリズムの急激な高まりによる資源依存国日本への影響力の分析

3. 研究の方法

調査では研究期間である 2 年間を通じて方法論による研究分析を行ってきた。具体的には以下の 3 部分における調査を中心に計画し、研究の目的に挙げた項目の調査分析を進めた。

(1) モンゴルにおける国内フィールドワーク

(2) 二次データの分析

(3) 鉱業分野における幅広い専門家への半構造的インタビューの実施

4. 研究成果

(1) モンゴルでの調査事例から、鉱業方針における転換は鉱業国における幅広い歴史の変換を多元的側面から理解する必要があるという結論を導き出すことが出来た。

他のアジアの資源産出国の様に、モンゴルは過去 15 年間に於いて大規模な外部主導による鉱業投資誘致のため鉱業制度の改革を行ってきた。

しかしその制限の無い自由化制度により、経済成長を貧困の削減につなげることが出来ず、ドラスティックな社会環境結果を招くこととなった。

その様な背景から、モンゴルおよびアジアにおける資源ナショナリズム政策の高まりは、多元的側面から政治的反応を再考する必要があるということが確認できた。

(2) また調査結果から、抽出産業における規範の多元化と、鉱業改革の合法性に関する重要な問題が提議される多くの資源産出国で近年起きている各地域の社会政治的影響との二分化について更なる調査の必要性が示唆された。

各地域における政治的空間からかけ離れた場所で、これら規範は鉱業活動における長期的持続可能性を脅かす懸念があり、今後は資源依存国である日本にとっても重要な課題として提議されることが予測される。

(3) 研究成果については主に学術コミュニティ及びその他国外における幅広い関係者コミュニティに向けて発信を行った。

研究期間中には学術的成果として Palgrave Macmillan にて自身の書籍を刊行し、また別書籍において章の執筆を行った。また 4 つの国際学術カンファレンスにて査読論文の研究発表を行い、また専門ワークショップにて 4 回にわたり研究発表を行った。

成果は上記を通じて国際機関や、社会的市民組織そして現地コミュニティなどの関係者を中心に更に広めることができた。

(4) また当研究調査により得られた成果およびそこから提議された新たな課題について、国際的連携研究となる、新たな研究課題 (2015 年度採択科研費若手研究(A) 15H05388 同准教授代表分) 'Beyond Corporate Social Responsibility: Social License to Operate, Innovative Partnerships and the Copper Industry' (企業の社会的責任を越えて: ソーシャルライセンス、革新的パートナーシップと銅産業) にて「ソーシャルライセンス (Social License to Operate)」の概念の広がり进行分析し、日本が資源の輸入を依存しているチリ、インドネシア、ペルー、モンゴルを対象にしたケーススタディを用いた調査から、抽出産業および資源依存国である日本への鉱業関係者への影響力を研究する。

5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計0件)

[学会発表](計9件)

Hatcher, Pascale, The Rise of Contestation : International Norms, Social Movements and Mongolia's Mining Governance, Transnational influence on national resource governance: comparative and inter-disciplinary perspectives, 2014年12月11日~2014年12月12日、メルボルン・オーストラリア

Hatcher, Pascale, Mouvements sociaux et questionnement du modele minier, Special seminar for researchers and students at Centro de Investigacion Sociedad y Politicas Publicas, Universidad Los Lagos, 2014年10月2日、サンティアゴ・チリ

Hatcher, Pascale, The Rise of Resource Nationalism in Mongolia and the Making of Tavan Tolgoi, British International Studies Association(BISA), 2014年6月18日~2014年6月20日、ダブリン・アイルランド

Hatcher, Pascale, 'Oyu Tolgoi's First Steps: the Reconfiguration of Political Spaces in Mongolia's Mining Sector', International Studies Association(ISA), 2014年3月26日~29日、トロント・カナダ

Hatcher, Pascale, 'Regimes of Risk: The World Bank and the Transformation of Mining in Asia', Asia Research Center Seminar Series, 2014年2月5日、Murdoch University, パース・オーストラリア

Hatcher, Pascale, 'Regimes de risqué: La Banque mondiale et les nouveaux regimes miniers en Asie', Conference publique du departement de science politique, 2013年11月29日, Universite de Quebec a Montreal (UQAM), モントリオール・カナダ

Hatcher, Pascale, 'La Banque mondiale et la poursuite des investissements a risqué en Asie : une analyse des

regimes miniers du Laos, des Phillipines et de la Mongolie', Pillage ou partage? Nouvelles forms d'appropriation des ressources et des territoires: Quelles responses?, 2013年10月21日、University of Montreal, モントリオール・カナダ

Hatcher, Pascale, 'The Open Pit::Socio-Environmental Safeguards, Multilateral Meddling & Mining Regimes in the Philippines', British International Studies Association Annual Conference, 2013年6月23日~2013年6月24日、University of Sheffield, シェフィールド・イギリス

Hatcher, Pascale, 'The World Bank Group & New Mining regimes in Asia', Special Seminar Series of the Geography Department, 2013年6月22日、University of Sheffield, シェフィールド・イギリス

[図書](計2件)

Hatcher, Pascale, Palgrave, Basingstoke 出版社, Regimes of Risk: The World Bank and the Transformation of Mining in Asia, 2014年、208頁

Hatcher, Pascale, Palgrave, Basingstoke 出版社, 'Into the Deep: The World Bank Group and Mining Regimes in Laos, the Philippines and Papua New Guinea' in T. Carroll and D. Jarvis(eds) The Politics of Marketising Asia, 2014年336頁

[産業財産権]

出願状況(計0件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

取得状況(計0件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:

出願年月日：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

Hatcher, Pascale (ハッチャー パスカル)

立命館大学・国際関係学部・准教授

研究者番号：30611181

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：